



埼玉県舞踊協会
NO.36

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：藤井 利子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

【ご挨拶】

埼玉県舞踊協会会長 藤井利子

近年、コンクール盛況時代を迎え、全国多数のコンクールから優れたダンサーが輩出されています。46年の歴史を誇る埼玉県舞踊コンクールからも、素晴らしいダンサーを毎年舞踊界へ送り出してまいりました。一方、創造活動を奨励する創作部門が不可欠と思っていました。夢が叶い、本年より創作部門を加えた7部門のコンクールが終了致しました。また、「ステージ」公演が本年40回を迎え、コンクール上位入賞成人の部、ジュニア部の方々による作品披露と、第3期生舞踊大学講座(夏期講座)でご指導下さった、ジュンキョウヤ遺作を特別作品として、プログラムに加えさせて頂き、3回公演のラストステージに、参加された協会の先生方も加わっての20代、90代全員のフィナーレで幕を降ろしました。今後も舞台作品の体験を通じた、実のある舞踊家育成事業を大切に推進してまいります。現在、来春2月2日公演の「ダンスセッション2014」の準備進行中です。既に6月、テロ・サリネンが来日、ダンスワークショップ「ダンスセッション」で参集の80余名のダンサーの中から、テロ・サリネンが選抜したダンサーで、1月7日より、日本ダンサーによる世界初演作品の振付に留まらず、同作品が来日公演に止まらず、同作品で日本ダンサーが海外劇場へ、国内活動から世界へ発信できる一歩を踏み出す交流へと展開できる様、担当者、理事一同頑張つて緊張の日々を送っています。同時上演にクラシック4団体による「四季」と、本年創作部門第1位作品披露を併せて御高覧頂きます。会員の皆様をはじめ、たくさんの方々から御高覧頂きたく、ご協力をお願い申し上げます。3月の「バレエ・モダンダンスフェスティバル」も準備進行中です。またコロログラフアーの目録袋 n c e @ 能楽堂 11月9日・10月20日のジュニアバレエフェスタ2013等各担当の理事は多忙な秋となります。今後とも皆様と共に未来へ夢を持ち続け、充実した活動を推進してまいります!!

第46回 埼玉全国舞踊コンクール

7月23日(火)~30日(火)
さいたま市文化センター
大ホール・小ホール
主催◎埼玉県舞踊協会 共催◎(財)さいたま市文化振興事業団
後援◎埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/埼玉県文化団体連合会/朝日新聞さいたま総局/埼玉新聞社
東京新聞さいたま支局/毎日新聞さいたま支局/読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコット(株)
(社)現代舞踊協会/(公社)日本バレエ協会/(財)橘秋子記念財団

クラシックバレエ

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞
橋秋子賞・藤井公賞(公社)日本バレエ協会賞
第2位の1
埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2
埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

クラシックバレエ 1部(成人)



大谷遥陽

今回このような賞をいただけてとても幸せです。ライオンダのVaを踊るにあたり今回は1曲の中でライオンダの心の変化が伝わるような表情そして感情を気をつけました。まだまだ挑戦したい事がありすぎるので頑張ります。

クラシックバレエ ジュニアの部

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞
橋秋子賞・津田郁子賞(公社)日本バレエ協会賞
第2位の1
埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2
埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞



渡邊 綾

この歴史あるコンクールで素晴らしい賞を頂くことができとてもうれしいです。私を支えてくださった先生方やまわりの人、家族にとても感謝しています。これからはこの感謝の気持ちを忘れずに謙虚にがんばっていきます。

クラシックバレエ 2部(児童)

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞
橋秋子賞・津田郁子賞(公社)日本バレエ協会賞
第2位の1
埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2
埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞



西澤真優

結果発表の時はうれしくて信じられませんでした。1位は自分の力だけではなく、先生方、家族、先輩方、お友達のおかげがあって頂けたものなので感謝しています。これからも努力していき、もっと上手になりたいです。

評

クラシックバレエ 1部 舞踊評論家 うらわまこと

高いレベルの接戦、ただ作品の表現をもっと

参加者75人、部門の年齢基準が必ずしも統一されているわけではありませんが、全国的に参加が減少傾向にあるこの部門としてはなかなかの人数。決戦進出者は40人、男性が参加2人、決選1人なのは少し寂しい気がします。決戦進出者はみな相当のレベル。そのせいもあるか、突出したものもなく上位は大接戦。私の評価でも、ほぼ3分の1が僅差のなか、そして多少前後はしましたが、そのほとんどが上位入賞。とくに1〜3位の大谷遥陽(ライオンダ1幕、本村明日香(オーロラ3幕)、西田悠乃(ジゼル1幕)は、落ち着いた大谷、堅実な本村、好感の持てる雰囲気のある西田と、みなスタイルのバランスもよく、しっかりと作品をまとめあげ、上位は当然。続くのは技術を表現した氏原可南子、同じくエスメラルダの染谷知

評

クラシックバレエ ジュニア部 舞踊評論家 伊地知優子

今年はクラシック・ジュニア部の審査に参加しました。ジュニアは、もう子どもではない、しかし大人でもなく、「女あるいは「男」という山に登る「途上」にありま

評

クラシックバレエ 2部 舞踊評論家 上野房子

小学4年生から中学1年生までの174名が、決戦の舞台で古典作品のヴァリエーションを踊った。指導者ではなく、評論家を本業とする筆者にとつて、コンクールの審査は「記録に残るダンサー」と「記憶に残るダンサー」のせめぎ合いだった。

「記録」に残るか否かは、主観的で、あいまいな基準ではある。しかし、本コンクールの目標の一つである「舞踊芸術の振興」に寄与し得る芸術家になるためには、記録の範疇を超えた、そのダンサーならではの輝きが必要ではないだろうか。コンクールの結果にかかわらず、若年の今だからこそ着実に技術を磨き、次のステップに踏み出す力を養って欲しい。今回のコンクールで出会ったバレエダンサーの卵達と、近い将来、プロフェッショナルな場で再会することを願っている。

多彩で楽しい作品群 今後は題名と内容の関係の 一層の突き詰めを

新人育成のために経験の場を、という趣旨で設けられた、ステージワンも40回今回も、新人から中堅そしてベテランの特別作品、ソロから7人の群舞、そして自作から指導者の作品と21作品それぞれに意欲が溢れて、そして初々しさを感じられるものでした(15日夜所見)
個々の作品に触れる余裕はありませんので、一点を取り上げます。
作ること、踊ることが楽しい、これも大事なことです。しかしそれはスタートです。踊りやダンスを見る作品もあつてもよいですが、ダンス作品の本質は、何かの思想や意味を表現して、観客に伝えること。その点で、まず作品の題名は極めて重要です。観客はまず題名で作品をイメージします(映画や小説がそうであるように)。それが伝えたことを言葉で表現したものでなければ、そのイメージが作品理解の助けになり、意外性のある題名でも、見終わって確かにならぬと思えることが大事です。今回は一般によくある、意味不明の題名が多かったのはとても残念でした。
全体としては、動きの作り方には面白いものがあるし、出演者の動きもとてもよくなり、それぞれに工夫、良さがあつました。なかからいくつかをあげると、群舞では動きの複雑な構成の松崎より作品「個性のなつた花作」3人をわたりまためた高橋ゆかり作品、「ソロ」ダンサーではコンテスの稲手雅「クラシックの妖原毛」モダンの自作「佐藤藤子」別結果をみなしかり、そして特出のサチコヤマアキオキムラがさすがに「ヨベル」の味をみせました。

STAGE I

第40回 ステージI
さいたま市文化センター 小ホール
2013年9月27日(金)



評 モダンダンス 1部

舞踊評論家 山野博大

上位に男性がずらりと並ぶ結果となった。多数を占めた女性審査員が、男性に高点を投じたからであらうか。私の採点はかなりの開きがあった。私は藤井彩花の『夜と霧』をトップに推した。次いで川合杏奈の『Feeling』、大前裕太郎の『明日(あす)なき今日』と入れた。他の審査員も私と同様に自分の結果とは違おうと思いつながら、みんな出した結果を見たのではないだろうか。そんな思いで入れた各審査員の得点を平均したものが公式の順位なのだ。モダンダンスの成人の部の決選出場者の全体のレベルはひじょうに高い。ちよつとした何かで順位が微妙に変動する。審査員の顔ぶれが変わればまた違う結果が出る。そのような審査事情はよく知っているよと現代舞踊の出場者は言うかもしれないけれども、何か良い改善の方法はないかと思ふ。

評 モダンダンス ジュニア部

舞踊評論家 佐々木涼子

ジュニア部門は心身ともに成長著しい中学・高校の6年間なので、全作品を同列で評価することが難しい。がそれだけに、本人にとっては出場の経験はとて有意義なはずだ。総体に、技術面はかなりレベルが高かった。難しいテクニクも取り入れた見応えのある演技が多く、審査すること以上に舞台を楽しみ、気持ちになれたのがうれしかった。とはいえ、テクニクに気を取ら

評 モダンダンス 2部

舞踊評論家 高橋森彦

モダンダンス2部快選110曲の審査は長丁場であったが、出場者並びに指導者・振付者の意欲と熱意がひとと伝わってきた。出場者が周囲の大人と力をあわせて自己に向きあう場である。若い感性がひたむきに挑んだ3分間には人知れぬ多くのドラマが隠されていることだろう。踊りの巧拙や完成度云々を超えて胸を打つものがあった。とはいえコンクールであり順位を競う場だ。気になったのは技術偏重気味ということ。若い子どもたちの生きいきとした表情を活かしたものであっても、シニア顔負けの大人っぽい雰囲気を感じた踊りであったり、こごとばかりに跳躍が入ったり、高く脚を上げたりといった定型化した振り付けが散見された。構成も似通っており、いくつかのパターンに分類できよう。隙のない作舞ではあるものの子供たちの表現力が生かされていなくて、残る演技も多々あった。散々言い尽くされ、常套句と言われかねないけれども、あらためて指摘

評 創作舞踊部門

舞踊評論家 立木燐子

埼玉全国舞踊コンクールに創作舞踊部門が立ち上がった。かつて埼玉舞踊協会が国際的な応募を含む振付コンクールを主催していた経緯もあり、喜ばしい限りだ。第1回の今年は40組の応募、最終的に38組が参加した。結果はいい意味で予想を裏切り、水準は低くなく、上位に入ったグループ以外にも、確かな力量を感じさせる作品があった。

モダンダンス

1部 成人の部



高橋純一 モダンダンス 1部 (成人) 心身共に成長する場として、埼玉コンクールに参加してまいりましたが、名誉ある賞を頂き大変幸せです。長い間ご指導くださった先生方に感謝申し上げます。今後も舞踊に誠実に向き合いたいと思います。

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞 橋秋子賞・藤井公賞(社)現代舞踊協会賞
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

- 高橋純一
向井章人
大前裕太郎
藤井淳子・加藤明志
伊藤有美・水島晃太郎
藤井彩加
西村 葵
千田沙也加
鈴木いつみ
渡部 萌
道田麻佑
佐藤伊都美
岡野友美子
宮本悠加

ジュニアの部



宗像 亮 モダンダンス ジュニアの部 名誉あるコンクールで第1位を頂いたのも高橋裕子先生のご指導はもちろん、先生方や家族の理解と協力、スタジオの仲間のおかげがあったからなのだと思います。舞踊を通じていろいろな方々に感動を与えられるようなダンサーになりたいです。

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞 橋秋子賞・藤井公賞(社)現代舞踊協会賞
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

- 宗像 亮
杉本舞花
天野真希
須崎夕理
富田奈保子
鈴木泰羽
久保愛梨
田村伊吹
山之口理香子
中野真李
早澤早実
鈴木良実
西村真実

2部 児童の部



松岡あさひ モダンダンス 2部 (児童) 先生に「澄んだ青い水平線から静かに朝日が昇ってくるのをイメージして」と言われ、美しい情景を表現することを目標に練習しました。思いがけず一位をいただけで夢のようです。本当にありがとうございます。

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞・県知事賞 橋秋子賞・藤井公賞(社)現代舞踊協会賞
第2位の1 埼玉県舞踊協会賞・県議会議長賞
第2位の2 埼玉県舞踊協会賞・県教育長賞
第3位の1 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の2 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
第3位の3 埼玉県舞踊協会賞
県文化団体連合会会長賞
朝日新聞社賞
埼玉新聞社賞
テレビ埼玉賞
東京新聞賞
毎日新聞社賞
読売新聞社賞
チャコット賞

- 松岡あさひ
タルマン磨野
曾根優芽那
佐々木美怜
小松崎結友
望月 楓
縫田美咲
小野優月
土屋沙世・黒川はな
佐々木葵
中井香里
伊興田稀日
加藤愛心・樋口 碧

創作舞踊

創作舞踊部門



高橋裕子 創作舞踊部門 埼玉コンクール第一回目の創作部門に参加させて頂き又身に余る第一位という賞を頂戴し感謝申し上げます。東北は未だ復興途中であり私共の舞踊活動も困難の中続けて参りました。この賞を頂き今後の舞踊活動の励みとさせていただきます。

- 第1位 埼玉県舞踊協会賞 県知事賞
第2位 埼玉県舞踊協会賞 県教育長賞
第3位 埼玉県舞踊協会賞
県芸術文化祭実行委員会会長賞
第4位 埼玉県舞踊協会賞
県芸術文化祭実行委員会奨励賞
第5位 埼玉県舞踊協会賞
県芸術文化祭実行委員会奨励賞
第6位 埼玉県舞踊協会賞
県芸術文化祭実行委員会奨励賞

- 高橋裕子
若野信子
鈴木泰介
二瓶野枝
川村真奈
小林啓子

感謝を込めて

栃沢寿美

来年3月リリアメインホールにてバレエ・モダンダンスフェスティバル、7月さいたま市文化センターにてコンクールと共に47年目を迎えます。第1回のコンクールで1位を頂いたお陰で、次のフェスティバルの合同作品で主役を踊らせて戴きました。私の埼玉県舞踊協会への始まりでした、その後、ニューイヤーコンサート、早春コンサート、ステージ1、ダンスセッションと様々の舞台上にダンサーとして振付者として、そして裏方として参加させて頂きました。フェスティバルは当初、各スタジオから参加した皆さんで1つの大きな作品を創り、振付はいろいろな先生が担当したり、各パートを何人かの先生で振り付けしてくださったり、勿論現在と同じ様に各々の先生が作品を出される時もありました。会場もいろいろな場所に移動し、その地区の先生がメインに動いて下さったり、変化をしながら現在の形に落ち着くには、まず藤井公先生の大きな力で、リリアのメインホールを優先的に借りることができる様になった事です。中村友美先生が長い間制作を担当して下さい、私も後に担当の一員となりましたが、その頃母の介護も大変になり、もう無理かな~と思う時期もありました。中村先生はそんな私を庇い、一緒に仕事ができる様にサポートして下さいました。先輩の先生方、後輩の先生方、そして生徒達のお陰でバレエを続けられ、大変な時を乗り越えることができた心から感謝致しております、これからもコンクールとフェスティバルの担当の一員として、頑張る事が出来たら幸いです。

伸びゆく彩の国さいたまの子どもたちによる
第47回 バレエ・モダンダンス フェスティバル
参加団体募集
日時/2014年3月2日(日) 16時開演予定
会場/川口市総合文化センター
リリア メインホール(入場無料)
主催/埼玉県舞踊協会

協会員催し物のご案内
2013年10月~2014年4月
石川須藤子田中いつみダンスアカデミー
10/27(日) 川越市Sierダンススタジオ
03(66958)2402 田中いつみ
「おみやげ舞踊協会」第9回公演 《有料》
11/4(月祝) 13:30
048(645)65551 羽宮舞踊会
048(645)65551 羽宮舞踊会
文月/15(日) 16:00 熊谷会館
048(527)5445 熊谷会館
048(883)8407 原島マヤ
MAYA BALLET STUDIO CONCERT VOL.24
12/21(土) 15:00 クレア鴻巣大ホール
048(883)8407 原島マヤ
「ザ・ネリマ現代舞踊展」Vol.27 《有料》
2/27(土) 19:00
練馬文化センター3ホール(小ホール)
03(6995)2218 藤里照子
米壽記念 石川須藤子田中いつみダンス公演 《有料》
03(7)19:00 池袋東京芸術劇場
03(66958)2402 田中いつみ
アキコカンダモダンダンススタジオ第11回発表会
3/21(金) 17:30
048(645)65551 アキコカンダ
第17回 春美バレエスタジオ発表会
4/5(土) 16:00
03(697)9775 板橋区文化会館大ホール
03(697)9775 板橋区文化会館大ホール
03(697)9775 板橋区文化会館大ホール
編集後記
暑い夏も終わりに...?協会も、総会、コンクール、ステージと、催し物が続いております。協会としての責任ある仕事とは、今ひとつ考えなければならぬ時にきたようです。会員の協力を、お願い致します。
広報部 笠原千均子 山本教子